中学生の「税についての作文」優秀作品
『十日町税務署管内税務関係団体連絡協議会会長賞』

税金で国を幸せに

十日町市立　松代中学校　３年
鈴　木　　倖

最近、「税金が高くなる」というニュースを耳にすることがよくあります。こんなニュースを聞くと、「生活が苦しくなってしまう」と多くの人が増税することに対して悪いイメージを抱いてしまいます。しかし、税金は様々な設備を整え、私たちの生活を支えてくれるなくてはならない大事な存在なのです。

みなさんは、「世界幸福度ランキング」を知っていますか？このランキングは、国連が社会支援の充実度や人生の自由度などを基にして毎年発表しているものです。そんな「世界幸福度ランキング」の一位は、六年連続でフィンランドです。そしてフィンランドの消費税は約二十四パーセントもあり、なんと日本の二・四倍なのです。税金が高いのに、国民の生活が苦しくなることはなく、世界一幸福な国となっている。フィンランドと日本には、どんな違いがあるのでしょうか。

まず、フィンランドでは税金が高い分社会保障制度が充実しています。病気になったときの治療費や、大学までの学費、給食費が無料で、育児休暇制度や失業保険などが充実しているそうです。フィンランドでは、国民の目に見える形で税金が使われています。そのおかげで、国民は税金に悪いイメージを抱くことなく満足して生活を送れるのではないでしょうか。

また、先ほどの「世界幸福度ランキング」で二位にランクインをした、デンマークも消費税が約二十五パーセントで、フィンランドよりもさらに高いです。デンマークでも、フィンランドと同じような財政がとられていて、教育費や医療などの心配をする必要がないようです。

このことから、幸福度が高いと言われる国は、日本よりもずっと税金が高く、社会保障制度がとても充実しているということが分かります。

しかし、日本では少子高齢化が進み、働き手が減っています。この状況で税金を増やしても、そのほとんどが高齢者を支えるための介護費や医療費に使用されてしまうのではないでしょうか。高齢者を支えるために税金を使うことは必要なことで、今よりももっと設備を充実させてほしいけれど、このままだと国民の負担は大きくなるばかりです。

どうしたら日本はもっと良くなっていくのかを考えるのはとても難しいことで、私はどうするべきか分かりません。しかし、税金は悪いものではなくて、税金が増えることは必ずしもマイナスなことではないということを頭に入れて生活していきたいです。

一人でも多くの日本人が、「この国は世界で一番いい国だ」と思えるような国になってほしいです。